

平成29年度登別市立図書館 運営方針と重点施策

～豊かな時間を図書館で～

1. 運営方針

地域にしっかりと根をはり、市民ひとりひとりの自己実現を助ける図書館へ

- 「地域を支える情報拠点」としての図書館の役割を認識し、「地域の社会関係資本」「教育的資源」としての機能を積極的に果たす。
- 図書館の目的である「教養・調査研究・レクリエーション」（図書館法第2条）の3つについて、偏ることなく全般的・網羅的な充実を図る。
- 図書館が長期にわたって利用されるには、「空間（施設）・人（職員）・資料」の3要素の充実が必須である。
- レファレンスサービス・リクエスト対応など図書館サービスの基本を忠実に実行する。
- 地域社会と市民の多様なニーズに応え、多様な資料の収集・提供・保存に努める。
- 子どもからお年寄りまで、だれもが利用しやすいよう施設・設備の改善を図る。
- 市内のどの地域に住む人も図書館が利用できるよう、市内全域サービスの強化を図る。
- 市民が気持ちよく利用できる居心地の良い場となるよう、一層のサービス向上に努める。
- 市民が読書に親しむ環境づくりを推進するため、各種事業を持続的に展開する。
- 各種事業等を通じ、市民の図書館に対する認知度を高めることにより、市民の側が図書館に能動的に係われる環境を構築する。
- 図書館と市民の関係を双方性なものになるよう努め、市民の「善意」を図書館活動に提供してもらえよう、地域に根ざした図書館への成長を図る。
- 知識や技術・経験を有する市民に、講座や展示などの「出番」を提供する。
- すべての市民に「居場所」を提供する。
- ボランティア団体との連携を深め、彼らの能力と意欲を積極的に取り込み、図書館の活性化を図る。
- コンピュータが苦手な情報弱者への、情報リテラシー（情報活用能力）の支援に取り組む。

○市民が日々の暮らしのなかで、図書館がもっと身近なものになるよう、図書館の魅力や有用性を周知する利用教育と啓発普及に努める。

2. 重点施策

○施設

1. 移動図書館車「こぐま号」の車両更新を行う。
 - ・工学院作成による凶案の選定とラッピング及び関連事業を実施する。
2. 施設・設備の老朽化を点検し改善に努める。
 - ・ 2階・3階のトイレ改修・洋式化
 - ・ 窓のブラインド交換

○2つの計画の策定

- ・「第3次登別市子ども読書活動推進計画」の策定
- ・「登別図書館のめざすもの」(図書館ビジョン)の策定

○資料

- ・ 書架の飽和状態の解消のため資料の除籍を進める。除籍資料の有効活用を図る。
- ・ 2階書庫及び幌別西小学校閉架書庫の除籍と整理を行う。
- ・ 西小学校校舎改修にともなう書庫閉鎖について、今後の代替場所を検討する。
- ・ 逐次刊行物の管理(リスト作成)と2F書架の運用開始。
- ・ 2階開架庫の分類表示の作成。(探しやすく分かり易い書架づくり)
- ・ 郷土資料の整理・郷土資料室の整理。
- ・ 寄贈資料(DVD含)の登録の迅速化と目録の質向上。

○サービス

- **レファレンス**
 - ・ オンラインデータベース(3種類)や国立国会図書館デジタル化資料の市民への周知と利用の促進に努める。(アニース分館)
- **事業・展示**
 - ・ ライブラリースタート事業の配布率の向上に努める。
- **情報リテラシーサービス・利用教育**
 - ・ 引き続き、図書館の活用講座「シリーズ 図書館への招待」を実施する。
- **広報**
 - ・ 「図書館通信」の内容の充実・刷新。
 - ・ 「じどうしつだより」の配布先及び内容の見直し。